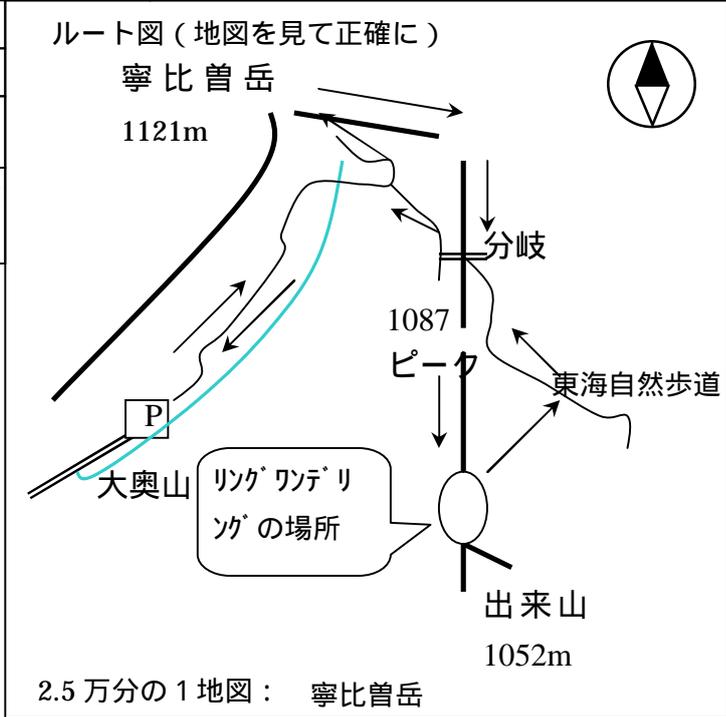


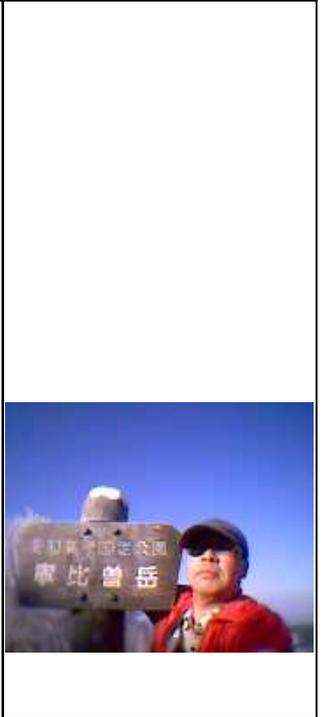
2 月度 <b>例会</b> <b>山行報告書</b>		報告者	中山 正夫	参加 メンバー	CL: 中山 正夫
2 月度 <b>個人</b> <b>山行報告書</b>		報告日	3/11		
山 域	奥三河	山行日	09年 2月 21日 (土)		
山 名	寧比曾岳・出来山				

山行目的	バイク単独でルート探索	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	-------------	--------------------

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙:集会  
担当者



2/21(土) 晴れ  
04:20 自宅発  
豊田 足助 金蔵連  
06:30 大奥山登山口着  
06:50 登山口発  
07:50 林道終点  
08:30 寧比曾岳頂上着  
09:45 頂上発  
10:00~:17 最初の林道  
リングワンデリング  
12:35~43 分岐  
13:35 登山口  
御内町 足助城 豊田  
自宅 16:00 着



山行報告 2/21(土)4:20 自宅発で豊田 足助 大奥山の林道ゲート前にバイクを止める 6:30。しっかり着込んだ服を軽装に着替える。沢沿いの林道詰めていく、林道終点 7:50 着。ここから細い沢を藪こぎで登る。最後は熊笹をこいで、寧比曾岳の東側の稜線にある登山道にポット出た。登山道は積雪 10cm でまだ足跡なし、5分で頂上着 8:30。風のこない東屋の横で朝食のおにぎりを食べる。東海自然歩道を東に向い分岐で自然歩道を外れて草刈された稜線を 1087m ピークまでは順調に登る。そこから突然道が途切れ数に突入、赤テープをたよりに進むが広い稜線で視界が利かず、目標物もない。時計兼用のデジタルの磁石もなんだかおかしく、N を表示しない。完全に自分の現在位置をロストした。1 時間半の藪こぎの末やっと先行者の新しい足跡を見つけたと思ったら、な、なんと自分の足跡だった。初めての経験リングワンデリング。こわくなり新城側の林道に無理やり出て、退却とする。林道を下ると寧比曾への自然歩道に合流し、やっとほっとする。寧比曾の分岐まで戻り、そこから、足助側の細いふみ跡をたどり朝登ってきた林道に戻ることができた。バイクまで戻り、足助の足助城見学の後、16:00 自宅着。

(感想)なぜリングワンデリングをやってしまったのか、未だにわからない、夜明け前バイクで走行中に突然道路に飛び出した狸を、轆きそうになった(ちょっと尻尾の先ちょを踏んだかも?)なので、おこった狸にばかされたのかとも思った。

リーダー所見 去年は大雪のため筈ヶ岳のみで、寧比曾岳に行けなかった。今回は登れてよかったが、奥三河の山をちょっとなめていたら出来山でひどい目にあった。単独行は慎重に、磁石はアナログも携行しよう、反省。 足助城は日本名僧列伝と言う本に載っている、鈴木正三の居城であったことをあらためて、確認した。

白い息はき来てみれば山は静か  
こっこれはまさかのリング  
ワンデリン  
寂しいな今日は誰にも合わぬ山  
沖仙

確認  
(リーダー)  
中  
09/03/11  
山  
作成  
(報告者)  
中  
09/03/11  
山